

光の粒が舞い降りた

12月23日～25日「川面に映るイルミネーションの祭典」が催され、彦山川番田こうら河川敷（新橋～番田橋間）が、約30万個を超える発光ダイオード(LED)の電飾で彩られました。これは、河川の美化を啓発しようと、彦山川を愛するボランティア団体などで作るイルミネーション実行委員会（水岡俊介委員長）が主催したもので、今回で7回目。会場では、クレーン車からつり下げられた高さ最大約55mのツリー型イルミネーション5基のほか、橋や土手にも電飾が施され、赤や白、紫などの光の粒が、夜空と水面にきらめきました。



1/15

平成30年1月15日  
(2018年)

NO. 1471